

里山林塾 年間スケジュール

	講習日	科目	作業種	備考
募集	2017年5月1日 月曜日	受講者募集開始		
定例	2017年5月4日 木曜日	現地確認、境界部分の下刈り	里山整備	三輪里山クラブチーム
第1回	2017年5月21日 日曜日	開講式 里山林の現状と課題 整備作業の基礎と安全 三輪里山の見学	座学 座学 見学	
第2回	2017年6月18日 日曜日	林床整備作業 基礎編 下草刈り、笹刈り、ツル伐り 杭作り、地拵え	実習	
第3回	2017年6月24日 土曜日	刈払機講習と安全教育 林床整備作業 基礎編 下草刈り、笹刈り、ツル伐り	講習会 実習	里山クラブ会員も 希望者参加可
第4回	2017年7月16日 日曜日	林床整備作業 基礎編 下草刈り、笹刈り、地拵え 道具の使い方とメンテナンスについて	実習	
第5回	2017年9月17日 日曜日	林床整備作業 応用編 動力機器を利用した下草刈り、笹刈り、地拵え 竹林処理	実習	
自由参加	10月初旬	毎木調査 小面積皆伐候補地選定	植生調査	
第6回	2017年10月15日 日曜日	林木整備作業 基礎編 伐採、間伐、かかり木の処理、搬出、運搬	実習	
第7回	2017年11月19日 日曜日	林木整備作業 基礎編 伐採、間伐、かかり木の処理、造材作業 道作り	実習	
自由参加	11月初旬	植生調査 I 秋の野草観察	観察会	
第8回	2017年12月17日 日曜日	林木整備作業と里山林の利活用 萌芽更新、もやかき、早成樹の処理 落ち葉掻きとムシ元気(堆肥)作り	実習	
第9回	2018年1月21日 日曜日	林木整備作業と里山林の利活用 除伐、玉切り、棺木作り、造材作業 道作り	実習	
自由参加	2月初旬	野鳥の観察会 冬芽の観察	観察会	
第10回	2018年2月18日 日曜日	林木整備作業と里山林の利活用 伐採、間伐、かかり木の処理、造材作業	実習	
第11回	2018年3月18日 日曜日	林木整備作業 上級編 大木伐採、除伐、玉切り、 種菌植え付け、	実習	
自由参加	4月初旬	春植物と野草の観察会	観察会	
第12回	2018年4月15日 日曜日	林床整備作業まとめと成果確認 下草刈り、笹刈り、 修了テスト	実習	
第13回	2018年5月20日	修了式		

里山林塾全体の体系と構成

里山とは、里山の現状と抱える問題点

日本の里山林の成り立ちと歴史
里山林の価値を一変させた燃料革命
雑木林の放棄と農業の衰退
荒れ放題の里山林
市民参加の森づくりと大きな課題

里山管理技術にはどんなものが在るか

安全とリスク管理
服装と防護具
道具の使い方と作業プロセスおよび手順
事故対応、応急処置、救命方法

林床処理技術 使っていないノコやナタは必ず鞘に入れておく。大ガマは斜面上方に
下刈り カマ、大ガマ、ノコギリ
ツル伐り ノコギリ、ナタ
笹刈り ノコギリ、刈払機
地寄せ
筋置き 杭、カケヤ 枝は50cm幅以下に
落ち葉掻きとムシ元気作り

林木処理技術

伐採 オオノコ、チェーンソー、ロープ
枝払い ノコ、チェーンソー
掛かり木の処理
大径木伐採 チェーンソー、プーリー、クサビ、ロープ
玉切り、運搬 ワッカロープ
竹林処理と竹の利用
萌芽更新、もや掻き
育苗、植栽

里山林管理技術

里山林の価値と整備目標(座学)
管理計画(座学)
管理目標と手法(座学)
植生調査、毎木調査(希望者参加)
道作り(実習)

里山林を活用する(座学中心)

森林資源の利用
薪づくり
炭焼きと木炭の利用
きのこ栽培
堆肥作りとカブトムシ
チップの利用

里山林で学ぶ・楽しむ(この内容については受講者の希望等を見ながら実施:オプション)

自然観察会(樹木、野草、野鳥、冬芽)を通して日本の四季を感じよう
木工、竹細工
ピザ釜作りと薪のカマで焼くピザを味わう
フィールドサイン

講座の進め方と概要

- 1、 講座は基本的に座学と現場実習で構成される月1回の1年コースです。
- 2、 実習が主体ですが、第1回目は開会式の後、講座全体の進め方、里山林の基礎を学んでいただきます。
- 3、 第2回目以降は、現場に出て、講師指導のもと、里山再生作業を行いながら、保全技術を基礎から学んでいただきます。
- 4、 2回目以降は、実習を午前中に行い、昼食の後その日のおさらいとまとめを行い、質疑応答を通してその日に学んだことの理解を深めます。
- 5、 各回毎に里山林に関する各種の話題をとらえ、資料を用意して小さな座学を行う場合があります。できるだけ、その日の実習内容と関連付けて、テーマを選択します。
- 6、 講座の実施サイクルは、月1回とし、毎月、第3日曜日を定例日とします。
- 7、 季節によっては作業の量に応じて回数を増やすこともありえます。
- 8、 参加時は持ち物：作業用の服装、履物、手袋、タオル、着替え等、および十分な飲み物、弁当を持参。
- 9、 参加者の登録は随時受け付けますが、9月一杯で受け付け終了します。（参加費は同額）受講期間が1年に満たない場合は、その受講者は次年度以降で講座が継続している場合は、不足期間を補う権利を保有します。
- 10、 出欠は自由ですが、参加記録は管理し、技能、技術のカバレッジが分かるようにします。また、参加率が80%を下回った場合は、「里山林マイスター」称号は与えられません。
- 11、 最終回には習得内容を再確認するために修了テストを行います。
- 12、 本講座参加者には傷害保険が付与されています。死亡・後遺障害保険金560万円、入院保険日額5,000円、通院保険日額3,000円、損害賠償保険2,000万円補償金額等不足の場合は各自での保険加入をお勧めします。

時間割

第1回目	
9:10	開会式 自己紹介
9:40	里山林の歴史、現状と課題
10:10	休憩
10:20	保全作業の基本と安全について 道具の紹介と使い方 身なり、服装など
11:20	講座の目的と進め方 グルーピング（班づくり）
12:00	三輪フィールドへ移動して昼食 ピザ窯を利用して野掛け（ピクニック）
13:00	三輪フィールドの見学
14:00	解散

（恩廻公園会議室使用）

第2回目以降の標準ケース	
9:00	朝礼 その日の作業について 準備運動
9:15	移動
9:30	道具の使い方実践指導
10:00	作業開始
11:00	休憩
12:00	作業終了 道具、携帯品確認 移動
12:20	昼食
1:10	ミーティング ヒヤリハット 本日のまとめと確認 道具の手入れと片付け
2:00	解散